



災害発生時の迅速な復旧のため！ 陸上自衛隊、国土交通省、中日本高速道路(株)の 連携をさらに深めます。

～3者による協定書締結式と

緊急開口部開口デモンストレーションの実施～

概要

災害発生時の迅速な活動には、関係機関の連携を更に深める必要があります。

これまで、災害発生時の緊急物資輸送のため、高速道路と河川堤防の交差部に緊急開口部を設けて接続し、これにより直接の乗り入れを可能としたり、洪水による甚大な被害に迅速に対応出来るよう水防上の重要な地点や施設の合同巡視を陸上自衛隊と国土交通省とで実施しています。

このたびは、陸上自衛隊、国土交通省、中日本高速道路(株)が災害発生時の迅速な活動に資するため、相互協力における川島パーキングエリア緊急開口部の迅速、安全な使用を図るべく、3者による「東海北陸自動車道川島パーキングエリア緊急開口部の使用に関する協定書」の締結式と、緊急開口部開口デモンストレーションを執り行います。



- 開催日時 令和元年11月8日(金) 14時00分～15時15分頃まで
- 開催場所 岐阜県各務原市川島笠田町 河川環境楽園(別紙-1参照)
- 参加機関 陸上自衛隊第10師団
国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所
中日本高速道路(株)名古屋支社岐阜保全・サービスセンター

4. 取 材 取材を希望される報道機関におかれましては、別紙ー2の提出をお願いします。

5. 解 禁 指定なし

6. 配 布 先 岐阜県政記者クラブ

7. 問合せ 国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所

○締結式・国営木曾三川公園の防災機能に関すること

河川公園課長 杉山佳幸 ☎058-251-1379

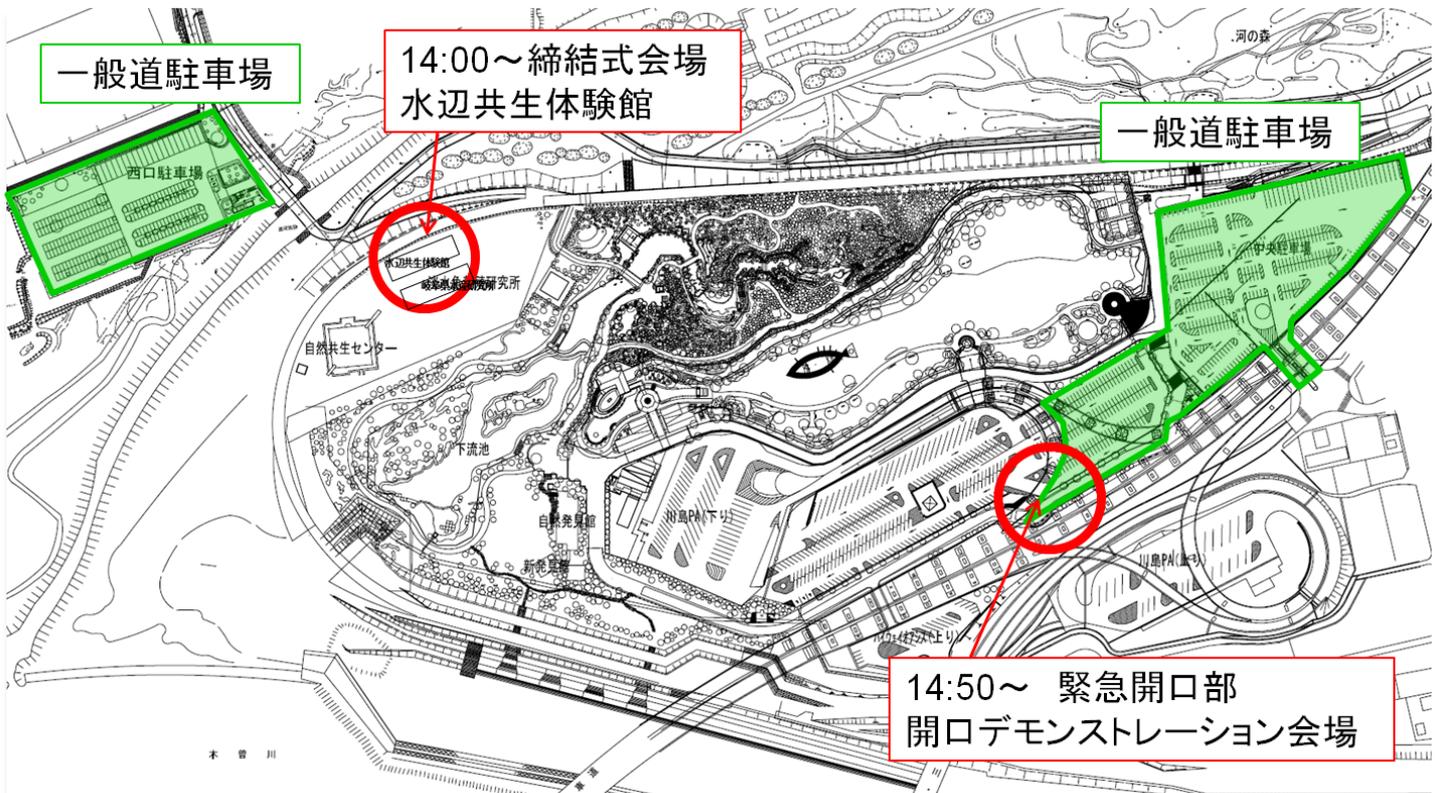
○河川の防災・災害支援に関すること

防災情報課長 倉橋和久 ☎058-251-4265

別紙-1



広域位置図



河川環境楽園 案内図

別紙－2

「災害発生時の迅速な復旧のため！陸上自衛隊、国土交通省、中日本高速道路(株)の連携をさらに深めます。」の取材をご希望される報道機関におかれましては、
11月 7日(木) 15時00分 までに本紙にてご登録をお願い致します。

」

取 材 登 録 書

1. 報道機関名 _____
2. 取材者等
(1) お名前 _____
(2) TEL連絡先 _____
(3) 取材人数 _____ 人

【提出先】 FAX : 058-251-1564

【問合せ】 国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所
河川公園課長 杉山佳幸 ☎058-251-1379

○協定書の概要

「東海北陸自動車道川島パーキングエリア緊急開口部の使用に関する協定書」は、陸上自衛隊第10師団、国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所と中日本高速道路株式会社名古屋支社保全・サービスセンターが災害発生時の迅速な活動に資するため、相互協力における東海北陸自動車道川島パーキングエリア緊急開口部の迅速、安全な使用を図ることを目的としています。

協定書では、災害対処時において陸上自衛隊が緊急開口部を開口して通行する場合、中部地方整備局木曾川上流河川事務所と中日本高速道路株式会社名古屋支社保全サービスセンターに連絡することで緊急開口部を通行できるものとします。また、通信できない場合にかぎり、事前連絡無しで通行できるものとします。

○広域防災ネットワーク

迅速な災害復旧に不可欠な広域防災ネットワーク構築を推進 国土交通省 木曾川上流河川事務所

平成27年12月に木曾川上流河川事務所とNEXCO中日本中部支社羽島保全・サービスセンターとの間で災害相互協定を締結し、河川堤防と高速道路をつなぐ緊急開口部のほか、長良川においては防災船着場を整備しています。

〜名古屋から大阪へ向かう車線と接続〜
至_大阪 名神高速道路 至_名古屋
揖斐川左岸取付道路 (H28.3 完工)

〜大阪から名古屋へ向かう車線と接続〜
至_名古屋 名神高速道路 至_大阪
木曾川右岸取付道路 (H30.3 完工)

至_大阪 大垣IC 名神高速道路 岐阜羽島IC 至_名古屋 一宮JCT

防災船着場 (H31.3 完工)
L=約150m W=約50m

揖斐川左岸取付道路資機材搬出訓練 (H28.8.23 実施)

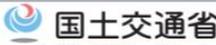
木曾川右岸取付道路資機材搬出訓練 (H30.5.15 実施)

○合同巡視の状況



木曾川上流水防炎協議会

【参考】平成30年度 陸上自衛隊との合同巡視状況



国土交通省
木曾川上流河川事務所

洪水時に迅速に対応できるよう、国土交通省木曾川上流河川事務所と陸上自衛隊第10師団第35普通科連隊は、木曾川上流河川事務所管内の木曾川・長良川・揖斐川の重要水防箇所等の合同巡視を実施しました。巡視行程として、神戸町や神戸町消防団及び岐阜市や岐阜市水防団との合同巡視や、NEXCOや羽島市との合同訓練も実施しました。

●実施日時：平成30年5月15日(火) 9:00～16:30
 ●実施場所：国土交通省木曾川上流河川事務所管内の重要水防箇所等
 ●参加者：国土交通省木曾川上流河川事務所16名、陸上自衛隊第10師団第35普通科連隊7名 【合計23名】

【概要説明】 揖斐川大垣河川防災ステーション



【揖斐川】 神戸町消防団と合同巡視



【長良川】 岐阜市水防団と合同巡視



流水管理センター視察



名神高速道路と木曾川右岸堤防との緊急開口部において陸上自衛隊車両による資機材搬出訓練を実施







【牧田川】 養老町の重要水防箇所巡視



災害対策車両の見学





意見交換（揖斐川大垣河川防災ステーション）

- ・出水期前に合同巡視を実施できたことは大変意義有ることである。
- ・現場で自分の目で確認することが非常に重要であると改めて実感した。
- ・巡視において、神戸町、岐阜市、羽島市、NEXCO等さまざまな関係機関と連携することができ、現場レベルでの顔の見える関係を構築できた。
- ・いざという時に迅速に対応できるよう、引き続き連携を深めていきたい。

○南海トラフ巨大地震における TEC-FORCE 活動計画（受援計画）に基づく広域進出拠点〔川島PA（上り）〕

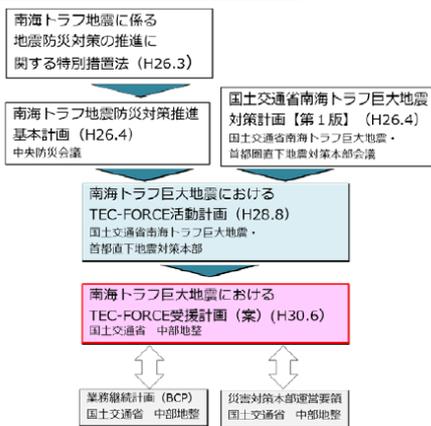
南海トラフ巨大地震におけるTEC-FORCE活動計画（受援計画）の概要

- 国土交通省では、南海トラフ巨大地震による広範囲の被害に備え、発災後速やかに全国のTEC-FORCEを被災地に派遣・支援することを規定。
- 中部地方整備局では、迅速かつ的確な派遣と応急対策活動を実現するため、TEC-FORCEの受入れ体制やその派遣計画等を具体化した「南海トラフ巨大地震におけるTEC-FORCE 活動計画（受援計画）」を新たに策定。

■ 広域派遣のイメージ



■ 受援計画の位置付け



【適用基準】
 ○地震発生時の震央地名の区域が、「南海トラフの巨大地震モデル検討会（内閣府）」において設定された想定震源断層域と重なる区域であり、下記のいずれかに該当する場合
 ・中部、近畿及び四国・九州の3地域のいずれにおいても震度6強以上を観測。
 ・中部地方整備局管内に大津波警報が発表された場合。

【被害想定】
 ○内閣府中央防災会議の「南海トラフ巨大地震の被害想定（第一次報告）H24.8.29」に基づく中部地方整備局管内の被害が最大のケースを想定。